

『ニッポン美肌県グランプリ2017』 富山県の新名産は肌の幸！ “富山県”が「美肌県」全国1位の座を獲得

株式会社ポーラ（本社：東京都品川区、社長：横手喜一）は、2017年日本で1番美しい肌を持つ「美肌県」を、富山県に決定いたしました。この結果は全国47都道府県を対象に、1年間（2016年9月1日～2017年8月31日）集めた女性の肌データ（659,994件※1）を分析し県別に集計。今年度より、近年女性が気になるPM2.5などの大気汚染物質「マイクロダスト※2」と「シワ」に関する2部門を新設し、全8部門（肌がうるおっている、ニキビができてにくい、シミができてにくい、くすみが無い、毛穴が目立たない、キメが整っている、マイクロダストに強い、シワができてにくい）の合計値から偏差値を算出し、総合順位を決定しました。



第1位 富山県

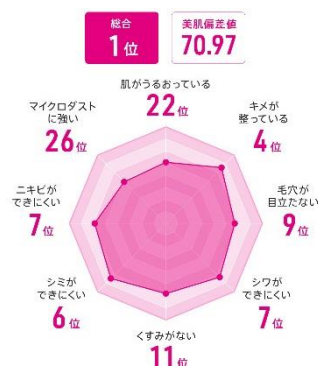
◆透明感があり、色白美肌の富山県

富山県は、昨年8位から7ランクアップし、初のグランプリに輝きました。「キメが整っている：4位」「シミができてにくい：6位」と、肌の明るさに関する項目が非常によい結果でした。8項目中、5項目がトップ10に入るよい結果だった事が、グランプリの要因です。富山県は、肌にとって良い気候の地域と言えますが、今年は特に年間の降水量が全国一で、肌のうるおいが保ちやすく美肌度をアップさせたと考えられます。生活習慣・体調※3の面でも、「肩や首がこりにくい」と解答している方が多く、血行がよく、お肌に十分な栄養が行き届いているということも富山県的美肌の秘訣であると考えられます。

◆美肌県グランプリとは？

ポーラは1989年より28年間にわたり、日本全国47都道府県の約1,700万件（2017年7月現在）の女性の肌データを見続けてきました。南北に長い日本列島に住む日本人の肌は、住んでいる地域の気象環境、ライフスタイルや体調によって受ける影響が違います。「美しくなるためには、まず、自分の肌が置かれている環境を知ることが大切。」そのことを、多くの方に知ってもらおうきっかけになればと、47都道府県別に分析した結果をランキングとして毎年発表しています。

※1 アベックス スキンチェック実施件数（2016年9月1日～2017年8月31日）
 ※2 ポーラが付けた名称（排気ガス・工場の煙・チリホコリ等のPM2.5、黄砂、タバコの煙、花粉等）
 ※3 アベックス スキンチェック生活習慣・体調アンケートより（2016年9月1日～2017年8月31日）



【リリースに関するお問い合わせ先】 株式会社 ポーラ 宣伝部 TEL 03-3494-7119 / FAX 03-3494-6198
 〒141-8523 東京都品川区西五反田2-2-3
 【お客さまのお問い合わせ先】 ポーラお客さま相談室（フリーダイヤル）TEL 0120-117111

◆『ニッポン美肌県グランプリ2017』総合結果

順位	都道府県	美肌偏差値
1	富山県(8)	70.97
2	石川県(6)	65.74
3	秋田県(5)	64.31
4	岡山県(11)	63.08
5	愛媛県(4)	62.34
6	島根県(2)	60.79
7	京都府(9)	59.48
8	山形県(17)	59.27
9	東京都(10)	59.21
10	広島県(1)	59.18
11	高知県(13)	57.88
12	長崎県(27)	57.51
13	徳島県(32)	57.48
14	山梨県(41)	56.25
15	宮崎県(20)	55.96

順位	都道府県	美肌偏差値
16	新潟県(7)	55.19
17	奈良県(33)	53.80
18	大阪府(22)	53.27
19	宮城県(25)	52.91
20	神奈川県(28)	52.60
21	愛知県(29)	52.07
22	長野県(23)	52.06
23	福井県(24)	51.61
24	北海道(15)	51.49
25	埼玉県(30)	50.49
26	福島県(38)	49.33
27	三重県(14)	47.76
28	和歌山県(40)	47.57
29	福岡県(21)	47.50
30	兵庫県(19)	47.28

順位	都道府県	美肌偏差値
31	佐賀県(37)	46.80
32	千葉県(42)	45.73
33	鳥取県(3)	45.65
34	青森県(31)	44.24
35	鹿児島県(34)	44.24
36	山口県(16)	43.52
37	栃木県(44)	43.17
38	岐阜県(26)	42.32
39	熊本県(18)	42.30
40	岩手県(12)	41.67
41	香川県(39)	41.07
42	静岡県(36)	39.87
43	滋賀県(35)	38.13
44	沖縄県(46)	36.95
45	茨城県(45)	36.47
46	大分県(43)	22.89
47	群馬県(47)	20.57

※34位と35位は小数点以下3位以降の数字をもとに順位づけしています。
※()内は、美肌県グランプリ2016の結果順位

◆『ニッポン美肌県グランプリ2017』総合結果考察

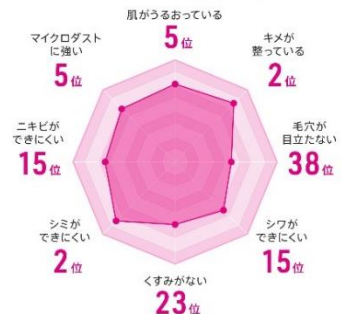
第2位 石川県

石川県は昨年6位から4ランクアップし、堂々の2位に輝きました。

「キメが整っている：2位」「シミができてにくい：2位」「肌がうるおっている：5位」

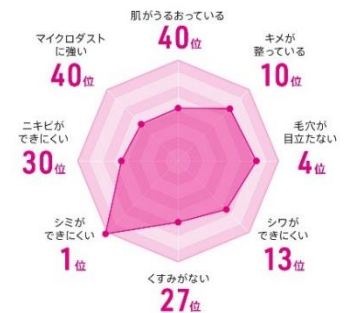
「マイクロダストに強い：5位」と、8項目中、4項目で5位以内という素晴らしい結果です。

富山県同様、降水量が多く、日照時間※4が比較的短いなど、美肌にとってよい気象条件が揃っていました。



第3位 秋田県

秋田県は昨年5位から2ランクアップし、3位を獲得いたしました。色白の「秋田美人」を証明するような、「シミができてにくい：1位」という素晴らしい結果でした。また、「毛穴が目立たない：4位」と肌表面の状態もよく、陶器のようになめらかで、シミのない明るく美しい肌が秋田県の特長です。



2017年の日本人女性のお肌は、色白度アップ

2016年と同様の評価項目（6項目での総合スコア）で2017年のスコアを算出し、昨年と今年の全国のお肌の状態を比較しました。

スコアが上昇した都道府県が40県、昨年と同様、もしくはやや落とした都道府県が7県という結果でした。この結果から、日本女性の肌が総じて美しさを高めている傾向にあるということが分かりました。

今年は、日照時間が全国的に減少し、「くすみ」や「シミ」でスコアを伸ばした県が多数ありました。一方、水蒸気密度※5も全体的に上昇しているにもかかわらず、「うるおい」スコアが伸び悩んでいる傾向でした。お肌の「うるおい」を守り、美肌度を更にアップする為に、保湿ケアを徹底しましょう。

※4 日照時間：気象庁HPより（2016年9月1日～2017年8月31日）

※5 水蒸気密度：大気中の水分量。空気中1mlに水分が何グラム含まれているかを示し、その温度での飽和水蒸気密度×相対湿度から求める。（2016年9月1日～2017年8月31日）

◆『ニッポン美肌県グランプリ2017』部門別概要と部門ランキング

『ニッポン美肌県グランプリ2017』は、肌の明るさや透明感など肌色の状態を表す「シミができてにくい」「くすみがない」部門、うるおい力や皮脂など肌質の状態を表す「肌がうるおっている」「ニキビができてにくい」部門、見た目の美しさを左右する「毛穴が目立たない」「キメが整っている」部門に、近年女性が気になっている、PM2.5などの大気汚染物質に関する「マイクロダストに強い」部門、シミと2大悩みと言われる「シワができてにくい」部門の2項目を追加した8項目で、より多面的に肌を分析できるようになりました。

■【2017年追加項目】マイクロダストに強い

【分析方法】

肌表面の角層細胞面積やはがれ方を計算して分析。

マイクロダストに強い		
順位	都道府県	偏差値
1位	島根県	80.77
2位	岡山県	73.05
3位	宮崎県	70.77

【肌のメカニズム】

大気汚染物質などのマイクロダストは毛穴より小さく、角層のすき間から直接肌の中に入し、肌をゴワつかせ、くすみに繋がるダメージを与えます。長期的にはシミ・シワの原因にもなります。

■肌がうるおっている

【分析方法】

肌表面の角層細胞のはがれ方を約30倍に拡大して観察。

肌がうるおっている		
順位	都道府県	偏差値
1位	島根県	79.63
2位	宮崎県	77.69
3位	岡山県	75.07

【肌のメカニズム】

肌表面の角層細胞のうるおいを保つ力が弱まると、肌内部の水分も蒸発し、肌は乾燥した状態になります。角層が乱れている状態は、外部刺激を受けやすくなり、肌は敏感になり、様々な肌トラブルに繋がります。

■シミができてにくい

【分析方法】

肌表面の角層細胞を約300倍に拡大し、メラニンの量や分布を観察。

シミができてにくい		
順位	都道府県	偏差値
1位	秋田県	80.98
2位	石川県	66.24
3位	新潟県	66.22

【肌のメカニズム】

メラニンというシミの元になる物質が過剰に産生されると、後々これが肌表面にシミとなって現れます。このメラニンは紫外線に当たるなど、肌が刺激を受けると増える傾向にあります。

■毛穴が目立たない

【分析方法】

肌表面の状態を約15倍に拡大して撮影し、毛穴の大きさなどを分析。

毛穴が目立たない		
順位	都道府県	偏差値
1位	鳥取県	73.47
2位	宮城県	70.80
3位	高知県	62.68

【肌のメカニズム】

毛穴に角栓が詰まって開いている状態と、エイジングによりハリが失われることで目立つ毛穴があります。また乾燥や熱風によって毛穴が目立つこともあり、丁寧なお手入れが必要です。

■【2017年追加項目】シワができてにくい

【分析方法】

肌表面のミクロな凹凸や肌色画像情報など、複数の情報の組み合わせから、コラーゲン線維の状態を推測。

シワができてにくい		
順位	都道府県	偏差値
1位	和歌山県	73.95
2位	京都府	65.99
3位	広島県	65.66

【肌のメカニズム】

肌を内側から支える柱のような存在のコラーゲン線維がしっかりと束になっていると、ハリ、弾力があり、シワができてにくい肌です。コラーゲン線維は紫外線によりダメージを受けるので、UV対策をすることが重要です。

■ニキビができてにくい

【分析方法】

ニキビができる位置や頻度、ターンオーバー（新陳代謝）の状態を分析。

ニキビができてにくい		
順位	都道府県	偏差値
1位	広島県	77.88
2位	長崎県	71.54
3位	愛媛県	65.11

【肌のメカニズム】

大人ニキビといわれる乾燥タイプのニキビと、過剰な皮脂が原因のニキビがあります。大人ニキビには保湿が重要。皮脂原因のニキビには、食事、ストレス、便秘などの生活習慣に影響を受けることが多く、ライフスタイルを整えることが重要です。

■くすみがない

【分析方法】

肌表面のミクロな凹凸や肌色情報など、複数の情報の組み合わせから糖化の状態を推測。

くすみがない		
順位	都道府県	偏差値
1位	山口県	72.65
2位	愛知県	70.19
3位	和歌山県	68.54

【肌のメカニズム】

加齢や紫外線により、体内のたんぱく質と糖が結びつく「糖化」が進み、これが黄ぐすみの原因となります。食生活の見直しや紫外線のケアをすることが大切です。

■キメが整っている

【分析方法】

肌表面における微細なキメ（皮丘・皮溝）の状態を約15倍に拡大して撮影し、デジタル画像解析を実施。

キメが整っている		
順位	都道府県	偏差値
1位	山梨県	66.99
2位	石川県	65.80
3位	徳島県	65.67

【肌のメカニズム】

肌表面には「皮丘」と呼ばれる山と、「皮溝」とよばれる谷からなる微細な凹凸構造があり、これを「キメ」と呼びます。皮丘がふっくらとしていて、皮溝に一定の方向性がないと、ハリ・弾力感のある明るい印象の肌となります。

気象と肌の関係

美肌県グランプリを通し、毎年、気象と肌の関係を調べていると、日本の気象環境が年々変わってきていることが分かりました。近年3年分にあたる、2015年、2016年、2017年（肌データ収集期間と同様の9月1日～8月31日のデータ）の、日照時間と水蒸気密度を比較すると、日照時間は、年により変動があり、水蒸気密度は全国的に年々高くなってきていることが分かります。水蒸気密度が高いということは、お肌にとってうるおいを味方につけやすいということです。一方、日照時間は年により変動があるということから、違うからこそ、時々気象状況を気にかけて、お手入れをする必要があります。日照時間は日本海側が短く、太平洋側は長い傾向にありました。また、水蒸気密度は、北日本の方が低く、九州地方に南下するに連れて高い傾向が捉えられました。



日照時間

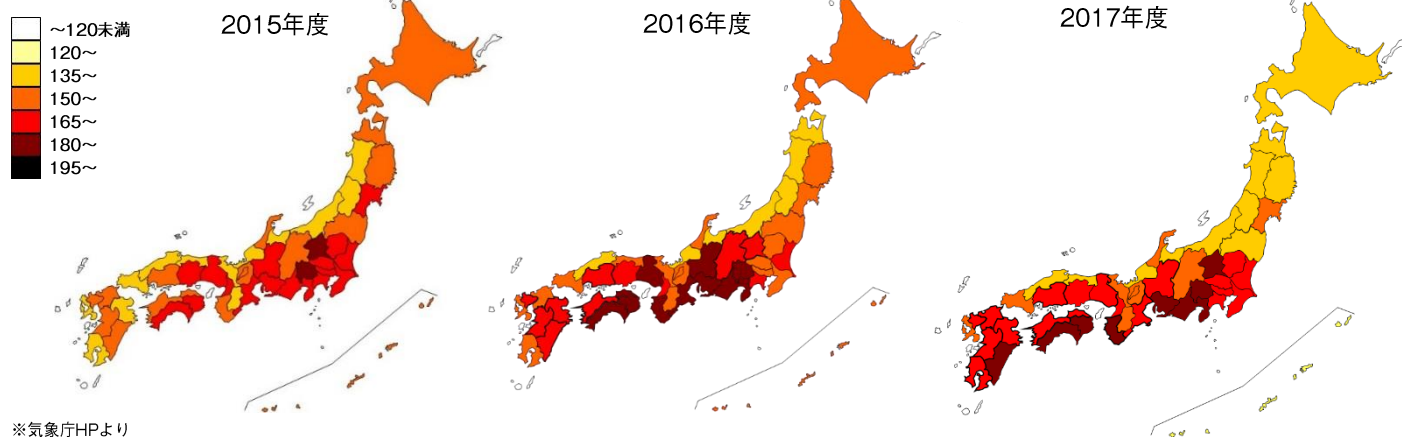
■日照時間が肌に与える影響

日照時間が長いことは紫外線に当たる時間が長いと考えられます。紫外線は肌の乾燥を引き起こすとともに、シミやソバカスの原因となります。また、肌内部にも影響を与え、ハリや弾力感を奪う大きな要因となります。

■紫外線からのケア方法

- ・外出時に日焼け止めを塗る。（顔だけではなく、首やデコルテも忘れずに。）
- ・UV-Aは窓ガラスも通過。室内でも日焼け止めを。
- ・ビタミンA・ビタミンC・ビタミンEを多く含む食品を取ることもオススメ。（カボチャやアボカド、アーモンド、トマトなど。）

年間平均 月合計日照時間 (h)



水蒸気密度

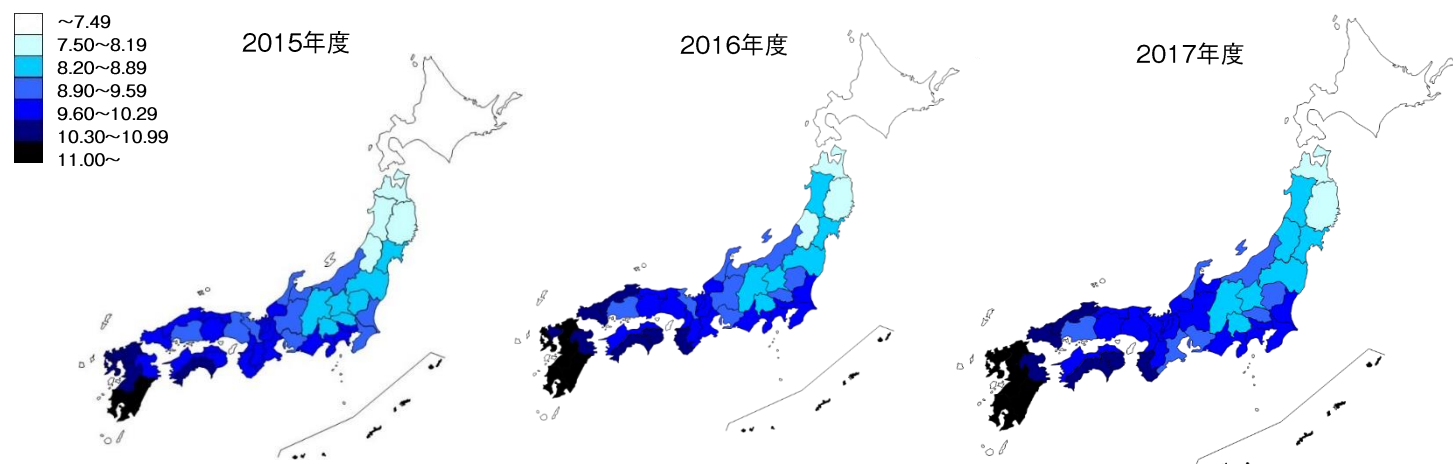
■水蒸気密度が肌に与える影響

空気中の水分量が少なく、空気が乾燥してくると、肌表面（角層）の水分が蒸発し、肌がかさつき、肌アレや小ジワといったトラブルを起こしやすくなります。また、角層が乱れて外部刺激も受けやすくなるため、肌が敏感な状態になりがちです。

■乾燥からのケア方法

- ・ローション/ミルク/クリームを重ね使いで保湿を行う。
- ・日中は保湿タイプのベースメイクを取り入れる。（※クリームファンデーションなど。）
- ・寒い時期は、ストールやマスクを使って風から肌を守る。

年間平均 月合計水蒸気密度 (g/m³)



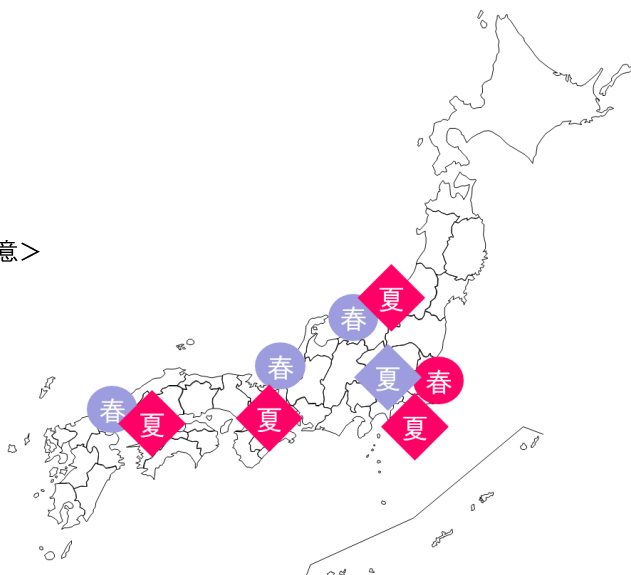
【風が強い春と、風が弱い夏の、2つの“肌荒れ大気（はだあらしたいき）※6”】

2017年6月に、肌荒れ・くすみ・シワなどに影響を与えるPM2.5などの大気汚染物質による夏の「肌荒れ大気」を発見しました。今回、年間で最も風の弱い夏の『肌荒れ大気』に加え、最も風が強い春の『肌荒れ大気』の状況について調べると、新たに2つの『肌荒れ大気』を発見。夏と春をまとめ、大きく分けて4つの傾向があることが分かりました。

「夏の肌荒れ大気」

夏 **流れ込むタイプ（流入型）** <海風がある地域は注意>
人口が多く、工業地帯がある地域の大気汚染物質が海風に乗って運ばれてくることにより、肌荒れを起こしやすくなります。
栃木県・茨城県

夏 **発生し留まるタイプ（滞留型）** <近くに山地がある地域は注意>
人口が多く、工業地帯があり、近くに山地がある地域は、夏は風が弱いので、その地域で発生した大気汚染物質が滞留しやすく、肌荒れを起こしやすくなります。
新潟県・富山県・広島県・滋賀県・千葉県



「春の肌荒れ大気」

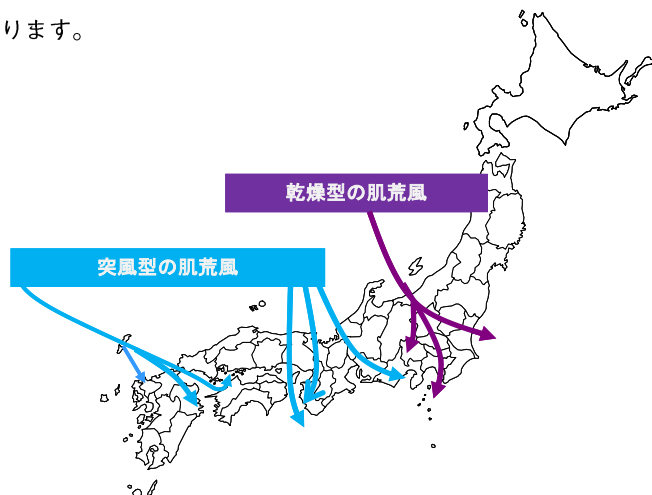
春 **流れ込むタイプ（流入型）**
春の上空の偏西風の強さによって、大気汚染物質が飛来してくることにより肌荒れをおこしやすくなります。
新潟県・福井県・広島県・山口県

春 **春の発生するタイプ（発生型）**
自地域で発生した大気汚染物質によって、肌荒れを起こしやすくなります。
栃木県・茨城県

【秋～春にかけて日本に吹く、2つの“肌荒れ風”】

■ **高い山脈を越えてくる乾燥した北風「乾燥型の肌荒れ風」**
主に秋から冬に吹く「乾燥型の肌荒れ風」に影響を受けている県
茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県

■ **狭い平野を通り抜ける強風「突風型の肌荒れ風」**
主に冬から春に吹く「突風型の肌荒れ風」に影響を受けている県
福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、広島県、山口県、徳島県、福岡県、佐賀県、大分県



【毛穴を目立たせる、山の「毛穴熱風（けあなねっふう）※7」と海の「毛穴熱風」】

■ **山の「毛穴熱風」** <風上に山がある地域は注意>
湿った空気が山を越えるときに雨や雲として水分を減らし、乾いた空気が山を下ることによって山の風下側で気温が上昇すること（フェーン現象）により、毛穴が開いてしまいます。
福島県・栃木県・群馬県・埼玉県・岐阜県・福井県・滋賀県・京都府・大阪府・奈良県・福岡県・佐賀県

■ **海の「毛穴熱風」** <海からの強い南寄りの風がある地域は注意>
南寄りの熱気を含んだ海からの強い風により、一気に湿度の高い熱い空気が押し寄せることによって、毛穴が開いてしまいます。
茨城県・千葉県・神奈川県・和歌山県・沖縄県



■ **山と海の「毛穴熱風」** <富士山のふもと（静岡県）には2つの毛穴熱風が存在する>
富士山のふもとの静岡では、午前中は山の毛穴熱風、午後は海の毛穴熱風が吹くことが分かりました。47都道府県中、静岡は夏場最も毛穴の開きが目立つ県でした。(2012年47位、2013年46位 ※5～9月データ)

※6 ポーラの造語。肌荒れ大気とは大気汚染物質などのこと。
※7 ポーラの造語。

【参考資料】 『ニッポン美肌県グランプリ2017』 概要

調査方法： ポーラ ザ ビューティを含む全国のポーラのお店にて、アベックスのスキンチェックを受けた方の肌データを47都道府県別に集計。この集計結果をもとに全8部門（肌がうるおっている、ニキビができにくい、シミができにくい、くすみがなく、毛穴が目立たない、キメが整っている、マイクロダストに強い、シワができにくい）の肌データを独自の解析により得点化。8部門の合計値から偏差値を算出し、総合結果の順位を決定いたしました。

期間： 2016年9月1日～2017年8月31日

対象件数： 全国47都道府県 659,994件※1

※1 アベックス スキンチェック実施件数（2016年9月1日～2017年8月31日）

都道府県	件数	都道府県	件数	都道府県	件数	都道府県	件数
北海道	14,681	茨城県	12,902	京都府	21,139	徳島県	4,673
青森県	4,011	東京都	35,417	滋賀県	10,955	高知県	5,374
秋田県	6,242	埼玉県	37,912	大阪府	56,321	愛媛県	5,874
岩手県	6,517	神奈川県	40,655	奈良県	3,975	福岡県	34,810
宮城県	3,915	山梨県	3,988	和歌山県	2,022	大分県	7,075
山形県	2,051	静岡県	37,400	兵庫県	23,261	長崎県	3,788
福島県	6,098	石川県	6,166	岡山県	8,022	佐賀県	6,059
新潟県	8,098	富山県	6,076	広島県	11,324	熊本県	6,147
長野県	14,921	福井県	5,024	鳥取県	1,883	宮崎県	4,195
群馬県	15,451	愛知県	76,054	島根県	2,668	鹿児島県	4,757
栃木県	4,589	岐阜県	30,570	山口県	11,090	沖縄県	2,992
千葉県	26,670	三重県	10,787	香川県	5,395	合計（件）	659,994

水蒸気密度とは？

水蒸気密度とは、実際の空気中の水分量を表します。空気1m³に水分が何グラム含まれているかを示し、その温度での飽和水蒸気密度×相対湿度から求めます。単位体積中の水分量が変化しなくても、空気温度が上がれば相対湿度は下がり、空気温度が下がれば相対湿度は上がります。空気は温度が高いほど多くの水分を含むことができる性質があり、例えば相対湿度が同じ50%でも、0℃と22℃での空気では、その水分量は1.9gと8.2gで4倍も違います。気温の低い北日本は、相対湿度が南日本と同じであっても、空気中の水分量が少なく乾燥しているため、お肌にとっては厳しい環境にあるといえます。

水蒸気密度 計算方法

各都道府県の温度と飽和水蒸気密度の値より相関係数0.999の近似式を作成し、これに気温と相対湿度の値を当てはめ算出。

各都道府県の気温℃、相対湿度%RH、水蒸気密度g/m³

水蒸気密度=a×b÷100 [a：飽和水蒸気密度 (a=5×10 (0.025c))、b：相対湿度、c：気温]

「美肌予報」

『ニッポン美肌県グランプリ』を6年間行ってきた中で、空気中の水分量への着目や「肌荒風」の発見など、気象に関する知見を蓄積してきました。住んでいる場所（都道府県）によって、気象状況は異なりますが、それにより肌のお手入れ優先ポイントも異なります。

「美肌予報」は、日本気象協会とポーラ美容研究室が開発した新しい肌ケア提案のコンテンツサイトです。向こう1ヶ月の天気予報を元に、都道府県別にオリジナルの「美肌指数」を算出し、今その地域で生活している人が優先的にケアすべきお手入れポイントを、スキンケア、食、マッサージ方法など、様々な角度から提案します。

■美肌予報 (<http://www.pola.co.jp/special/bihadayoho/>)

